

## 礼拝メッセージフィードバック

<今日の聖書箇所は…>

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

## セル ガイド

- ① 祈り、賛美によって主がここにいてくださることを信じ、聖霊様があがめます。
- ② 互いの存在を感謝し、尊敬するところを分かち合しましょう。
- ③ ディポジションの分かち合いをします。
- ④ セルの目的と働きについてみなで共有して、祈り、遣わされて行きましょう。

## 家族礼拝ガイド

年長のクリスチャンがリードしてください。進め方にはいろいろな意見が出るかもしれませんが、「主に期待する」信仰が最も大切です。いつもの家族でいいのです。

- ① この1週間で神様はすばらしいと感じたのはどんなこと？
- ② この1週間でお互いにどんなことを感謝しますか？（または誉めたいですか？）1つだけ。
- ③ 聖書のみことばから、どんな実践をして、またどんな恵みがありましたか？
- ④ 互いの必要のために祈りましょう。

# デーヴォ ガイド



**2023.12.25-31**

But **grow** in the grace and knowledge of our Lord and Savior Jesus Christ. To him be glory both now and forever! Amen. II Peter 3:18

## L T G ガイド

- ① お互いへの感謝と誉めることを分かち合しましょう。（2～3つ）
- ② 1週間の罪を言い表して悔い改め、互いに祈りましょう。
- ③ 礼拝メッセージの分かち合いをします。  
礼拝メッセージの分かち合いが難しい場合はディポジションの分かち合い（なるべく短く）
- ④ 預言の祈り（主の御心を宣言して祈り）をします。

## 25日 月曜

ルカ

2:25 そのとき、エルサレムにシメオンという人がいた。この人は正しい、敬虔な人で、イスラエルが慰められるのを待ち望んでいた。また、聖霊が彼の上におられた。

2:26 そして、主のキリストを見るまでは決して死を見ることはない、聖霊によって告げられていた。

2:27 シメオンが御霊に導かれて宮に入ると、律法の慣習を守るために、両親が幼子イエスを連れて入って来た。

2:28 シメオンは幼子を腕に抱き、神をほめたたえて言った。

2:29 「主よ。今こそあなたは、おことばどおり、しもべを安らかに去らせてくださいます。

2:30 私の目があなたの御救いを見たからです。

2:31 あなたが万民の前に備えられた救いを。

2:32 異邦人を照らす啓示の光、御民イスラエルの栄光を。」

2:33 父と母は、幼子について語られる様々なことに驚いた。

2:34 シメオンは両親を祝福し、母マリアに言った。「ご覧なさい。この子は、イスラエルの多くの人が倒れたり立ち上がったたりするために定められ、また、人々の反対にあうしるしとして定められています。

2:35 あなた自身の心さえも、剣が刺し貫くことになります。それは多くの人の心のうちの思いが、あらわになるためです。」

2:36 また、アシェル族のペヌエルの娘で、アンナという女預言者がいた。この人は非常に年をとっていた。処女の時代の後、七年間夫とともに暮らしたが、

2:37 やもめとなり、八十四歳になっていた。



彼女は宮を離れず、断食と祈りをもって、夜も昼も神に仕えていた。

2:38 ちょうどそのとき彼女も近寄って来て、神に感謝をささげ、エルサレムの贖いを待ち望んでいたすべての人に、この幼子のことを語った。

シメオンとアンナは長年、救い主の誕生を待ち望んでいました。彼らの夢は自己実現や物質的なものではなく、世の人々のためのものです。そのような夢は主の御心にかなうので、必ず実現するのです。そして彼ら自身も喜びに満たされます。さらに主は、これら二人の希望のゆえに、その人生を守ってくださいました。

このような夢を持ちましょう。そしてみことばに励まされて、求めましょう。そのような生涯は天の命の書に記されることになるでしょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## 26日 火曜

### 箴言

29:1 叱責されても、なお、うなじを固くする者は、突然打ち砕かれて、癒やされることがない。

29:2 正しい人が増えると、民は喜び、悪しき者が治めると、民はうめく。

29:3 知恵を愛する人は、その父を喜ばせ、遊女と交わる者は、財産を減ぼす。

29:4 正義によって王は国を建てる。重税を取る者は国を壊す。

29:5 隣人にへつらう者は、自分の足もとに網を張る。

29:6 悪人は背きを犯して自分に罠をかける。正しい人は声をあげて喜び歌う。

29:7 正しい人は弱い者のためのさばきを知っている。悪しき者はそのような知識をわきまえない。

29:8 嘲る者たちは町を騒がし、知恵のある人たちは怒りを鎮める。

29:9 知恵のある人が愚か者を訴えて争うと、愚か者は怒ってあざ笑い、安まることがない。

29:10 血に飢えた者たちは誠実な人を憎み、心の直ぐな人のいのちを狙う。

29:11 愚かな者は感情のすべてをぶちまけ、知恵のある人はそれを内に収める。

29:12 支配者が偽りのことばに聞き入るなら、従者たちもみな悪しき者になる。

29:13 貧しい者と抑圧する者は出会う。

【主】は、この両者の目に光を与えられる。

29:14 真実をもって弱い者をさばく王、その王座はとこしえまでも堅く立つ。

「叱責される」と嫌な気がして、その内容や自分の非を考えるよりも、責められたことの恨みが心に残り易いものです。しかし、それで「うなじを堅



く」することは自分のためになりません。つまりかたくなになってはなりません。むしろ感謝して、自分を変えて成長できるなら、そこには大きな恵があります。

人をあてにして、「隣人にへつらう者」すなわち機嫌をとるようなことをすれば、自分の生き方が歪んでいきます。正しく歩めなくなり、自分で罠の網にかかってしまいます。

「感情のすべてをぶちまける」ようにして、怒りなどをそのままに出してしまうことは、愚かであるということです。その結果は失敗であり、信頼を失うでしょう。

「貧しい者と抑圧する者」とは、ぜんぜん別の人生を歩んでいるように感じますが、実は紙一重です。主は両方に平等に日の光を与えてくださいます。両者の幸いは同じなのです。主の視点によって人生を見ましよう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## ➤ 27日 水曜

### 箴言



29:15 むちと叱責は知恵を与える。放っておかれた子は母に恥を見させる。  
29:16 悪しき者が増えると、背きも増す。しかし、正しい人は彼らの滅びを見る。  
29:17 あなたの子を戒めよ。そうすれば、彼はあなたを安らかにし、あなたの心に喜びを与える。  
29:18 幻がなければ、民は好き勝手にふるまう。しかし、みおしえを守る者は幸いである。  
29:19 しもべは、ことばだけで戒めることはできない。それが分かってても、反応しない。  
29:20 軽率に話をする人を見たか。彼よりも愚かな者のほうが、まだ望みがある。  
29:21 自分のしもべを幼い時から甘やかすと、ついには手に負えない者になる。  
29:22 怒る者は争いを引き起こす。憤る者には多くの背きがある。  
29:23 人の高ぶりはその人を低くし、へりくだった人は誉れをつかむ。  
29:24 盗人にくみする者は自分自身を憎む者。その人はのろいを聞いても何も言わない。  
29:25 人を恐れると罨にかかる。しかし、【主】に信頼する者は高い所にかくまわれる。  
29:26 支配者の顔色をうかがう者は多い。しかし、人をさばくのは【主】である。  
29:27 不正を行う者は正しい人に忌み嫌われ、行いの真っ直ぐな人は悪しき者に忌み嫌われる。

「むちと叱責」や「戒め」のように、子をしかるのには勇気と確信が必要です。それらは、愛情と信仰から来るのです。

「幻」とは将来のビジョンです。個人でも教会で

もビジョン(幻)が必要です。それが希望となり、意欲となります。主からいただきましょう。「しかしみおしえを守る者は幸い」とあります。もしもまだビジョンがはっきりしていなくても、当時の律法のような主のみこころを行うなら、間違いはありません。

怒りや憤りはそれ自体は罪ではありませんが、「怒る者は争いを引き起こす」とあるように、罪を犯す入り口になりやすいのです。収める訓練をしましょう。

24節にあるように間違っことをする仲間は、互いに一致などありえません。八方美人であることが主のみこころではありません。悪者には忌みきらわれることも当然あり得るのですから、正しい言動をする決心が必要です。

①神のみこころは？(信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど)

②どんな思いになりましたか？(感情や願いなど)

③生き方にどう適用しますか？(あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか)

④この世にあって何を実践しますか？



## 28日 木曜

### 箴言

30:1 マサの人ヤケの子アグルのことば。イティエルに告げ、イティエルとウカルに告げたことば。

30:2 まことに、私は粗野で、人ではない。私には人間としての分別がない。

30:3 私はまだ知恵も学ばず、聖なる方の知識も持っていない。

30:4 だれが天に上り、また降りて来たのか。だれが風を両手のひらに集めたのか。だれが水を衣のうちに包んだのか。だれが地のすべての限界を堅く定めたのか。その名は何か、その子の名は何か。あなたは確かに知っている。

30:5 神のことばは、すべて精錬されている。神は、ご自分に身を避ける者の盾。

30:6 神のことばに付け足しをしてはならない。神があなたを責めて、あなたが偽り者とされないために。

30:7 二つのことをあなたにお願いします。私が死なないうちに、それをかなえてください。

30:8 むなしいことと偽りのことばを、私から遠ざけてください。貧しさも富も私に与えず、ただ、私に定められた分の食物で、私を養ってください。

30:9 私が満腹してあなたを否み、「【主】とはだれだ」と言わないように。また、私が貧しくなって盗みをし、私の神の御名を汚すことのないように。

30:10 しもべのことを、その主人に中傷してはならない。そうでないと、彼はあなたをのしり、あなたは罰を受けることになる。

30:11 自分の父をのしり、自分の母をたたえない世代。



30:12 自分をきよいと見るが、汚物を洗い落とさない世代。

30:13 なんとも、その目が高ぶり、まぶたが上がっている世代。

30:14 歯が剣のようで、牙が刀のような世代。彼らは、地の苦しむ者を、人々の中の貧しい者を食い尽くす。

4節にあるように、神の前には、自分自身は何も知らないのと同じであると知りましょう。

「神のことばは精錬」されています。余計な者はなく、また状況や心情にぴったりだということでしょう。神のことばを求め、従いましょう。

8節にあるように、「貧しさも富」も、弱い人間にとっては道を見失う要因になるのだと、謙遜に考えましょう。現代人は両方を感じるものです。

12節にあるように、自分のきよくないところを認めることが大切です。それを洗うことはもっと大切です。きよさは主イエスの十字架の力でまたらされます。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## 29日 金曜

### 箴言

30:15 蛭には二人の娘がいて、「くれ、くれ」と言う。飽くことを知らないものが三つある。いや、四つあって、「もう十分だ」と言わない。

30:16 よみ、不妊の胎、水に飽くことを知らない地、「もう十分だ」と言わない火。

30:17 自分の父を嘲り、母への従順を蔑む目は、谷の烏にえぐり取られ、鷲の子に食われる。

30:18 私にとって不思議なことが三つある。いや、四つあって、私はそれを知らない。

30:19 天にある鷲の道、岩の上にある蛇の道、海の真ん中にある船の道、おとめへの男の道。

30:20 姦淫する女の道もそのとおり。彼女は食べて口をぬぐい、「私は不法を行わなかった」と言う。

30:21 地は三つのことによって震える。いや、四つのことに耐えられない。

30:22 奴隷が王となり、愚か者がパンに満ち足り、

30:23 嫌われた女が夫を得、女奴隷が女主人の代わりとなることだ。

30:24 この地上には小さいものが四つある。それは知患者中の知患者だ。

30:25 蟻は力のないものたちだが、夏のうちに食糧を確保する。

30:26 岩だぬきは強くないものたちだが、その巣を岩間に設ける。

30:27 いなごには王はいないが、みな隊を組んで出陣する。

30:28 ヤモリは手で捕まえられるが、王の宮殿にいる。

30:29 歩きぶりの堂々としたものが三つある。



いや、堂々と歩くものが四つある。

30:30 獣の中で最も強く、何からも逃げない雄獅子、

30:31 誇らしげに歩くおんどりと雄やぎ、軍隊を引き連れた王。

30:32 もし、あなたが高ぶって、愚かなことをしたり、企んだりしたら、手を口に当てよ。

30:33 乳をかき回すと凝乳ができる。鼻をねじると血が出る。怒りをかき回すと争いが起こる

15節にあるように、自分のために、もっと欲しいと思う者は、人の血を吸う蛭(ヒル)のようです。食欲に気をつけましょう。気が付くとそうなっている場合があります。

「もう十分だ」と満足できることが大切です。与えられているもので楽しく、豊かに暮らすセンスをみにつけ、そして感謝しましょう。

「姦通」などのように、罪を犯してしまうのは、初めは常習性はありませんが、繰り返すうちに道となって、当たり前になって、何も感じなくなってしまう。

24~28節にあるような、これらの動物は取り柄がないようですが、その行動によってすばらしい生活となっています。人も同じです。

①神のみこころは？(信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど)

②どんな思いになりましたか？(感情や願いなど)

③生き方にどう適用しますか？(あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか)

④この世にあって何を実践しますか？



## 30日 土曜

### 箴言



31:1 マサの王レムエルが母から受けた戒めのことば。

31:2 私の子よ、何を語ろうか。私の胎の子よ、何を語ろうか。私の誓願の子よ、何を語ろうか。

31:3 あなたの力を、女たちに費やしてはいけ  
ない。王を滅ぼす者たちに、歩みを委ねては  
いけない。

31:4 レムエルよ、これは王がすることではな  
い。ぶどう酒を飲むのは王がすることではな  
い。強い酒を飲むのは君主がすることではな  
い。

31:5 酒を飲んで、定められたことを忘れ、苦  
しむ者みなへのさばきを曲げるといけないか  
ら。

31:6 強い酒は滅びようとしている者に、ぶど  
う酒は心の痛んでいる者に与えなさい。

31:7 その人は飲んで自分の貧しさを忘れ、も  
う自分の労苦を思い出すことはない。

31:8 口のきけない人のために、口を開きなさい。  
すべての不幸な人の訴えのために。

31:9 口を開いて、正しくさばき、苦しむ人や  
貧しい人のためにさばきを行いなさい。

3節には権力ある者へのいましめです。王には何をすることも許されますが、だからこそ正しいことを選び取る必要があります。私たちも許されているから、批判されないからと好きに振舞うのではなく、何が大切かで判断しましょう。

「王がすることではない。」とあります。人はその責任に応じて、またプライドを感じて行動すべきです。これは私のすることではないと、自分の行動を高いレベルで判断しましょう。

「酒」などの嗜好品、または快楽などは、よく自

己管理が必要です。

8節にあるように、自分のためではなく悩める人のために生きることは、使命を持って生まれた人の本当の生き方です。自分自身の使命を神様から明確にさせていただきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？



## 31日 日曜

### 箴言

31:10 しっかりした妻をだれが見つけれらるだろう。彼女の値打ちは真珠よりもはるかに尊い。

31:11 夫の心は彼女を信頼し、彼は収益に欠けることがない。

31:12 彼女はその一生の間、夫に良いことをし、悪いことをしない。

31:13 羊毛や亜麻を手に入れ、喜んで自分の手でそれを仕上げる。

31:14 商人の船のように、遠い所から食糧を運んで来る。

31:15 夜明け前に起きて、家の者に食事を整え、召使いの女たちに用事を言いつける。

31:16 よく調べて畑を手に入れ、自分の稼ぎでぶどう畑を作り、

31:17 腰に力強く帯を締め、腕に力を入れる。

31:18 収入が良いのを味わい、そのともじびは夜になっても消えない。

31:19 糸取り棒に手を伸ばし、手に糸巻きをつかむ。

31:20 苦しむ人に手を差し出し、貧しい人に手を差し伸べる。

31:21 家の者のために雪を恐れることはない。家の者はみな、紅の衣服で身を包んでいるから。

31:22 自分のための敷き物を作り、衣服は亜麻布と紫の撚り糸でできている。

31:23 夫は町囲みの中で人々によく知られ、土地の長老たちとともに座に着く。

31:24 彼女は亜麻布の衣服を作って売り、また、帯を作って商人に渡す。

31:25 力と気品をまとい、ほほえみながら後の日を待つ。



31:26 知恵をもって口を開き、その舌には恵みのおしえがある。

31:27 家の者の様子をよく見守り、怠惰のパンを食べない。

31:28 その子たちは立ち上がって彼女をたたえ、夫も彼女をほめたたえて言う。

31:29 「力ある働きをする女は多いが、あなたは、そのすべてにまさっている」と。

31:30 麗しさは偽り。美しさは空しい。しかし、【主】を恐れる女はほめたたえられる。

31:31 彼女の手が稼いだ実を彼女に与え、そのわざを町囲みの中でほめたたえよ。

「しっかりした妻」を見つけるように主に祈りましょう。しっかりした妻となれるように主にいのりましょう。またそのような夫婦関係を築き上げましょう。

夫は自分の妻を信頼しましょう。妻は信頼してもらえるように行動しましょう。

20節にあるように、愛のある人は、自分の家族もまた他の人も同じように愛します。

23節にあるように、しっかりした妻を持つ夫は、人としても信頼される人です。もちろんそのような妻自身も信頼され、また女性からは尊敬されるでしょう。

良きことをしている人は、主が備えておられる未来を信じましょう。

30節にあるように 見かけは過ぎ去りますが、信仰は人生の美しさをもたらし、それは消えることがありません。

31節にあるように、主はすばらしい女性に、しっかりと報いてくださいます。主に期待できる行いをしましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

